

ぽれぽれ



通信

vol. 24

オリンピック大臣政務官 第24号【9・10月号】
文部科学大臣政務官
復興大臣政務官
衆議院議員（3期7年）

栄区 鎌倉市
逗子市 葉山町

山本ともひろ

40歳



初めて政治家が、 福島第一原発の内部へ！

～現場作業員も、
政治家も同じ人間だ～

7月上旬、「そんなおかしいじゃないですか！現場の作業員は福島第一原発の建屋に入って作業をしているのに、視察に行く私（山本）が中に入れなくて、どういうことですか？同じ人間でしょ？」と珍しく大きな声が文部科学省の大臣政務官室に響き渡った。

文科大臣政務官と復興大臣政務官として原子炉の運転等により原子力損害が生じた場合における損害賠償、いわゆる「原子力損害賠償」を担務としている山本は実際に事故を起こした福島第一原発に現地視察を計画・立案した。特に、科学技術も担務としているので、遠隔操作のロボットによる原子炉内部の把握に努めた現場などを見るために第一原発の建屋に入るプランを立てていた。が、本省の担当部局からの報告によると「建屋には入れません」との回答が届いたので、上記のような発言が出たのである。

視察先の第一原発の所有者である東京電力からの回答では、建屋に入れば、数分で一日で許容される範囲の放射線量を超えて被爆してしまうので、立ち入りは認められない、とのことであった。もし山本の被ばく線量はその線量限度を超えてしまうと、東京電力は原子力規制委員会へその事実を報告しなければならず、現場の安全管理や被ばく管理に責任を持つ東京電力は、原子力規制委員会から「なぜ、そのような危険なことを承知の上で視察を許可したのか」ときつく指導を受けてしまうことになる。また、文科省や復興庁の大臣政務官がそのような事実を把握しながらも視察を希望したとなると、それはそれで内閣の一員として適切な行為とも思えない、ということで、結果として今回は建屋への立入りは断念することになった。

一般的に日常生活で日本人が自然界から一年間に被爆する量は約2.1ミリシーベルト、単純に一日に換算すると、約0.0058ミリシーベルト、レントゲン検査（胃の場

合）は、約3ミリシーベルト、飛行機に搭乗しても宇宙線による被曝があり、例えば、成田ニューヨーク間（往復）では、0.1～0.2ミリシーベルトである。

一方、東京電力から示された作業員以外（視察など）の人の一日の被曝量の許容範囲は0.1ミリシーベルトであった。そして、当初、考えていた建屋に入るとなると数分でその許容範囲を超えてしまうということであった。では、現場作業員は、どうか、と言えば、彼らは労働安全衛生法により被曝放射線量が年間50ミリシーベルト、5年間で1000ミリシーベルトと定められており、作業が出来るというのである。従って、作業員と言えども無尽蔵に被曝しても良いというものでもないのである。期間を定め、危険な業務に従事するのであるからそれなりの報酬があり、尚且つ強制ではなく、あくまでも希望する人たちに従事してもらっているのである。

結局、山本が当初計画・立案した視察は、完全には実施できなかったが、許容される被曝量の目一杯の範囲で視察を再計画し、最終的には、福島第一の水素爆発を起こした1号機と2号機の間にある1・2号機中央操作室など、今までは作業員しか入ったことのない場所に政治家としては、初めて立ち入り、現場の職員と語り合う貴重な視察が



【1・2号機中央操作室で伊沢当直長（中央）から説明を受ける山本（右）】

《ウラ面へつづく》

政治家って普段何してるの?!

誰もが疑問に思うこと！その疑問に山本ともひろが、twitterとFacebookを使いお答えします。そこには、普段考えもしなかった政治家の活動や苦悩があります。アクセス、フォローお待ちしております。



衆議院議員 山本ともひろ プロフィール

- 昭和50年(1975年)生まれ 40歳 鎌倉在住
- 関西大学 卒業 京都大学大学院 修士課程 修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選 ○平成24年 衆院選 2期目の当選
- 平成26年(2014年)文科大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成26年(2014年)衆院選 神奈川4区(南関東) 3期目の当選
- 平成27年(2015年)オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任

《オモテ面からのつづき》

実現できた。事故の当日、その中央操作室で指揮、作業にあたった伊沢当直長が、同室で出迎えてくれ、当日のことも説明してくれた。電力の供給が断たれた同室は機能不全に陥り、原子炉の制御が出来なくなり大事故になった。同室の電力を回復させるために全員で車のバッテリーなどを津波に襲われ、余震が続く中、人力で運び込み連結させ、何とか同室の電力を回復させ計器を作動させようと試みたが、完全に電力が回復することは無く、時折、電気が回復し、計器が動く、その瞬間を逃さず、壁に直接そのデータを鉛筆で書く、また電源が落ちて暗闇になる。そのような状況が断続的に続いていたようだ。もっとも現場の職員が必死になってデータなどを壁に直接書き込んででも何とか現状を把握しようと懸命に努力をしていたことも当直長は後に理解したほど現場はまさに戦場のような慌ただしさだったようだ。そのような状況下で、あの水素爆発が起き

たのだ。ズドンッ！と下から大きく突き上げられ天井から照明が落ちてきて、大きな爆発音が鳴り響いた瞬間、「終わった」と思ったようだ。だが、同室には窓は無く、外で何が起きているかは室内の人間には分からず、とにかく復旧させるために出来ることをやろうと誰一人現場を離れることなく持ち場でひたすら出来ることをやり続けたようだ。当時のことを振り返って話をしている伊沢当直長は、途中幾度となく涙しそうになりつつも一生懸命に当日のことを話してくれた。また「あの時、一緒に作業にあたった職員を誇りに思っている」と何度も口にしていた。

東電執行部の対応に疑問が投げかけられることもあるが、現場の東電の職員は事故の瞬間から今に至っても懸命に与えられた職務を果たしている姿に直に触れ、その様子を各方面にしっかりと伝えなければいけないと思い、本紙でも視察の模様をお伝えすることになりました。引き続き、山本も与えられた職務に邁進します。

会議をするなら自由民主4区会館。



【自由民主4区会館】

JR鎌倉駅(西口)前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの活動を支えるためだけに使うのではなく広く世に開放しています。2つの会議室を擁し、事前に予約をして頂ければ、ご利用頂けます。

但し、公職選挙法により無料で開放することが出来ません。従って右記の通り使用料を頂きます。

地域や町内の活動のための会議などにご活用頂ければ幸いです。定期的、或は商業目的にご使用になる場合はご相談下さい。



【第1会議室】



【第2会議室】

○自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料(円)		
	午前 9-12時	午後 13-17時	夜間 18-22時
第1会議室(15人)	1,000	1,000	1,000
第2会議室(15人)	1,000	1,000	1,000

住所:鎌倉市御成町12-4 JR鎌倉駅西口前
TEL:0467-39-6933

あなたの駅は何枚でしょう? ぼれぼれ通信 vol.23

山本ともひろ後援会機関紙「ぼれぼれ通信」を4区内の右記の駅で朝の6:30~8:30までの2時間駅頭活動をさせて頂き本紙を配布させて頂いております。雨の日は、鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動は行っておりません。

7月と8月の配布状況は右の通りです。皆様のご利用の駅はどのような状況でしょうか?

7月	駅名	枚数	8月	枚数	前月比
7日(火)	逗子駅	412	4日(火)	468	◇
8日(水)	新逗子駅	249	5日(水)	288	◇
29日(水)	鎌倉駅(東口)	539	24日(金)	497	◆
13日(月)	鎌倉駅(西口)	457	31日(月)	513	◇
10日(金)	大船駅(西口)	634	18日(火)	502	◆
24日(金)	大船駅(モルル口)	390	19日(水)	407	◇
15日(水)	大船駅(東口)	480	28日(金)	502	◇
27日(月)	大船駅(笠間口)	519	21日(金)	558	◇
28日(火)	本郷台駅	381	27日(木)	239	◆
21日(火)	港南台駅	216	25日(火)	141	◆
7月配布合計		4,277	8月合計	4,115	◆

ぼれぼれ通信の由来

ぼれぼれとは、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。一度に全てを変えることは無理だけど、それでも諦めずにゆっくりでも、少しずつでも政治を変えていきたい。それを誰かが、やらなければ、この国は良くならない。その活動を本紙でご報告します。↗

私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせ、政治を志すきっかけとなりました。だから、その国の言葉を使うことにしました。twitterやFacebookのアカウントのpolepoleもその思いからです。本紙をどうか末永くご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

- ・本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943
- ・国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室 TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623
- ・自由民主4区会館 神奈川県鎌倉市御成町12-4 山田ビル3F TEL:0467-38-6411
- ・文部科学大臣政務官室 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL:03-6734-3503 FAX:03-6734-3584
- ・復興庁 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル6F TEL:03-5545-7230(代表)
- ・オリパラ推進本部 東京都千代田区永田町1-6-1 TEL:03-5253-2111(代表)